

令和5年度 第2回花見川区公民館運営審議会 議事録

1 日時：令和6年3月14日（木）

午前10時30分～午前11時50分

2 場所：幕張公民館 講堂

3 出席者

(1) 委員（花見川区公民館運営審議会委員14人中13人）

青山智穂委員、荒井久男委員、岩崎直美委員、宇野勝男委員、大森大二郎委員、小田川景子委員、加瀬陽子委員、小池泰子委員、鈴木恵子委員、田岡與志昭委員、田中一実委員、宮間久男委員、山田隆委員

欠席：高山邦美委員

(2) 事務局

ア 千葉県教育委員会生涯学習部生涯学習振興課

小池正彰（課長補佐）、積田浩二（主査）

イ 千葉県教育振興財団

中村文香（公民館管理室室長補佐）、金子彩（公民館管理室主事）、大塚茂（幕張公民館館長）、中村宏（幕張公民館副館長）、佐久間泰（花園公民館館長）、古市直彦（犢橋公民館館長）、吉野精一郎（検見川公民館館長）、篠塚和仁（花見川公民館館長）、敷波義治（さつきが丘公民館館長）、宮下彬（こてはし台公民館館長）、山崎信彦（長作公民館館長）、風間政章（朝日ヶ丘公民館館長）、美濃哲也（幕張本郷公民館館長）、西田めぐみ（幕張公民館主事）、縄稚美季（幕張公民館主事）

(3) 傍聴人 なし

4 議事

(1) 報告事項

ア 令和5年度千葉市花見川区公民館利用状況について（1月末現在）

(2) 協議事項

ア 令和6年度千葉市花見川区公民館事業計画（案）について

5 議事概要

(1) 報告事項

ア 令和5年度千葉市花見川区公民館利用状況について（1月末現在）

幕張公民館長が、区内10公民館・5図書室の利用状況等について報告した。

・質問・意見なし。

(2) 協議事項

ア 令和6年度千葉市花見川区公民館事業計画（案）について

・委員からの意見・質問等に対し、生涯学習振興課、公民館管理室、該当館長・副館長が対応した。

6 審議会経過

(1) 開会

(2) 千葉市花見川区公民館運営審議会委員長挨拶

(3) 千葉市生涯学習振興課課長補佐挨拶

(4) 議事

①報告事項

ア 令和5年度千葉市花見川区公民館利用状況について（1月末現在）

<質問・意見>

なし

②協議事項

ア 令和6年度千葉市花見川区公民館事業計画（案）について

<質問・意見>

(岩崎) 犢橋公民館「吹奏楽コンサート」のオンライン配信は、千葉北高での演奏の様子を配信するのか。

(古市) 千葉北高の生徒が公民館へ来館・演奏し、その様子を視聴希望者や地域の高齢者施設等へYouTubeの限定配信にてアーカイブ配信する。

(岩崎) 個人講師はどのように選定しているか。公民館の利用者が多いのか、公募なのか。

(大塚) 基本的には区内公民館で実績のある講師を依頼している。公募はしていない。

(小田川) 幕張公民館・幕張本郷公民館には、対象となる児童を近隣の学校に指定している講座があるが、長期休業で祖父母宅へ滞在中の他校の児童は受け入れないのか。

(中村(宏)) 幕張公民館では、地域の児童を最優先で受け入れている。空きがあれば他地域校の児童も受け入れる。

(美濃) 幕張本郷公民館も同様である。

(宮間) 図書蔵書数が全館減少しているが、理由は何か。

(大塚) あまりにも配架が多いと利用者が見つらいため、ある程度蔵書を減らし、配架レイアウトを工夫している。蔵書自体は減っているが、利用しやすさに配慮した運営を行っている。

(宮間) 予算が減ったわけではないのか。

(大塚) 予算は変わっていない。

(宮間) 幕張公民館講座で定員が8組となっているが、それは子ども8人保護者8人ということか。また、花園公民館の「クリスマスケーキを作ろう」の16人は子どもだけか。

(中村(宏)) その通りである。

(佐久間) その通りである。

(大森) 避難所運営について、公民館への避難は対象者が決まっているのか。

(小池) 特に決まっていない。

全ての公民館は地域住民の避難場所に指定されている。災害時、最新の情報等が届くようにデジタルサイネージを設置するなどしている。

(大森) ということは、避難所運営委員会で受入優先順位を設定してもよいのか。

(山崎) 長作公民館は和室があるため、避難所運営委員会の取り決めにより福祉避難室として利用することとなっている。地域の実情を踏まえ、公民館と連携の上、避難所運営委員会が決めて構わないのではないか。

(大塚) 幕張公民館も同様である。

(田中) 公民館とよく相談しながら避難所運営委員会で決めてよいのではないかと思います。

(岩崎) 花見川公民館は定員割れの講座がいくつかあるが、人を集めるため、広報について何かよいアイデアはあるか。

(田中) 地域の回覧板は労力のわりに効果が薄いように思う。何か他の手段はないかと思う。

(鈴木) ポスターやチラシ等は効果が薄い。ロコミが一番効果的かもしれない。さつきが丘公民館の場合、隣接するいきいきセンターとの情報共有に効果が認められた。

(大森) 公民館のHPはないのか。

(中村(文)) 既にあり、講座についてはそちらでも発信をしている。

(大森) そのことを町内会等にもっと知らせるとよいのではないか。

(小田川) 朝日ヶ丘公民館では、クラブ連協の役員が高齢化していることや、クラブ連協が文化祭運営のための組織だと勘違いして加入しないサークルが増えて、会費が入らず苦勞している。そこで、要望として、①市からの補助金を検討してほしい。また、②他館ではどのような状況か、有効な対策等があれば教えてほしい。

(中村(文)) ②については、同様の状況の館は多い。区によっては文化祭を公民館との共催とし、会費を0円としているところもある。ただし、公民館との共催についてはメリット・デメリットがあるため、その点も考慮して十分検討する必要がある。

(小池) ①について回答する。H25年頃の補助金についての精査で、社会教育団体への補助金は2団体を除き打ち切りとなった。こうした経緯があるため、現在は補助金について検討はしていない。ただし、ご意見については課に持ち帰り共有する。

(岩崎) クラブ連協に文化祭参加のために入り、会費を払って役員まで引き受けなくては、となることを嫌がっているサークルが多い。クラブ連協に加入することでのメリットを打ち出せるとよいのだが。

(小田川) 公民館ごとに共催にするかどうかの検討ができるのか。それとも、区全体での協議でなければならないのか。

(中村(文)) 地域性や各館の人員の問題等があるため、館毎に協議をお願いしたい。

(田中) 公民館とクラブ連協でよく相談して進めるべきかと思う。幕張公民館はクラブ連協主体。町内会長への招待状なども出して参加してもらっている。各館のこれまでの歴史を踏まえつつ文化祭を続けていけたらと思う。

(5) その他

(6) 閉会